

進学 Now!

石橋高校
進路指導部
保護者版 3月

0 はじめに

暖かい日が続き、すっかり春らしくなりました。保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、学校が休校となってから1ヶ月あまり経ちましたが、自宅での様子はいかがでしょう。お時間に余裕があるときに、学習や進路についてじっくりと話し合い、今後の取り組みについて方針を考えていただくには良い機会だと思いますので、是非お時間を作っていただきたいと思います。感染が終息することを願って、今後の指導等についてご紹介いたしますので、ご一読下さい。

1 2020年度大学入試速報（困難に打ち勝つ結果でした）

今年の3年生は成績の伸びが遅く、とても心配しましたが、最後は120名の国公立大学合格者を出すことができました。しかし、この努力と苦しみは、後輩たちにとって多くの貴重な教訓を残してくれました。

部活動と勉強の両立は、本校生徒の悩みでもあり、また誇りでもあります。その力の入れ具合やタイミング、勉強への取り組み方の調整は、なかなか難しく、個人差も大きくなります。

学年の雰囲気や仲間作りにも大きな影響を受けますが、何よりも将来への展望と学習への意欲と取り組みによって、成績は浮き沈みます。そして、社会情勢や文科省の政策によっても難易度は変化します。

今年の3年生の背中を見ていた在校生諸君は、その困難に立ち向かう姿や苦しみを参考に更に良い方向へと向かって欲しいと思います。

3年生諸君に会う機会はありませんが、心からその頑張りに賛辞を送りたいと思います。

2 2年生この時期

新3年生になる2学年の生徒諸君にとって、学年末のこの時期は非常に大切な時期になります。そんな大切な時期に学校が休校になってしまい、連絡事項が正確に伝わるか、危惧しております。学校から配布されたプリントや連絡事項をご確認いただき、慰労のないようご注意くださいと思います。

① 進路意識を高める

この時期は、3年生になることを意識して、進路志望について「具体的に」かつ「真剣に」検討を進めて欲しい時期です。

あこがれや夢も大切ですが、現実的な問題（成績や費用）についても考えていかねばなりません。春休みの宿題として「志望理由書」が義務付けられていますが、是非ご家族時間を作って検討してみてください。

あと1年あると思っていると間に合いません。2ヶ月経つと6月になり（半年経過）、学校祭が終わるともう9月（あと3ヶ月）、というタイミングでそれぞれの時期に必要な決断を迫られます。

1月には、あっという間に共通テスト（旧センター試験）がやってきます。そして3年間の集大成の時期がすぐにやってきます。意識を高めていきましょう。

② 情報を収集する

何よりも先に準備すべきことは、大学情報の収集と精査です。近年大きな改革が進められており、数年前の状況とは大きく変化しています。大学のホームページや情報誌を活用し、正しい情報を集め、検討して下さい。近年は、国公立大学も受験方法が様々に変化しており、私立大学でも定員厳格化の影響から、大きな変化が見られます。受験科目の変更や募集方法

の変更、受験者の資格条件など、受験生にとって大切な情報に変化が見られます。秋になってから資格条件に気づいても、検定試験などは間に合いません。

自分の目指す進路について、自ら主体的に動けることが合格の条件とも言えます。学校や予備校から与えられる情報を待つのではなく、今できることに主体的に取り組みましょう。

保護者対象の大学説明会も設定されるようになってきていますので、是非ご参加下さい。

③ 学習計画を立てる

目標が定まったら、その道のりを計算・計画し、計画を立てましょう。いつまでに何をすべきなのか。スタートするのは何時なのか。毎日の学習時間はどれくらい必要なのか。

目標は、各個人で異なりますので、他人と同じ準備ではいけません。

④ 模擬テストの意味を考える

3年生になると模擬テストの回数が急激に多くなり、その準備に追われる中で次々と実施されていきます。しかし、模擬テストに振り回されるのではなく、一つ一つの模擬テストの意味を考えながら取り組むことが求められます。そして、模擬テストは「練習試合」と捉え、本番の大会で勝つための準備と捉えて欲しいと思います。模擬テストの結果に一喜一憂せず、どっしりと構えて準備しましょう。

3 1学年この時期

1年生も大切な時期になりました。この時期にお休みが長くなったことは、大きなマイナスです。しかし、この状況をプラスに変えていくポジティブな姿勢を持ち続けて欲しいと願っております。文理選択が決まり、クラス替えも行われます。部活動も徐々に中心学年となっていきます。そして、2年生からは各自の興味関心に基づく「テーマ研究」が始まります。総合的な探究学習の時間の一環として行われるこの研究は、進路にも直結するような非常に重要な学習です。

2年生の欄にも書きましたが、上記の通り大学の状況が大きく変化している状況であり、共通テスト2年目に当たるこの学年は、厳しい試練に見舞われる学年とも言われています。これまでの知識中心の学びから、主体的・積極的・協働的な学びが求められ、英語力や表現力が重視されます。以下の点に留意しながら、できる限りの努力をしていって欲しいと思います。

① 検定試験の受験

受験の際に、英語検定など各種の検定試験の結果を重視する大学が増えつつあります。部活動加入率の高い本校生は、練習や大会の日程を見ながら、検定試験などの準備をし、受験していくことが必要になります。

文科省が延期を宣言した「英語検定問題」とは別に、大学ごとのルールが定められていますので、できる限り多くの資格を取っておいて欲しいと思います。

② 外部模試の受験

大学受験の準備として、学校でも模擬テストを実施しますが、それは必要最低限の模試に過ぎません。しかも教室で受験しますので、特に緊張感もなく、仲間どおしの和やかな会場で受験できます。

ここでご紹介する外部模試は、学校以外の場所で受験する模試を指しています。大宮やお茶の水、各種大学で実施される模擬テストに、個人的に申し込み、一人で受験に行くのです。その経験が、本番の受験に役に立ちます。2年生のうちにチャレンジしましょう。

③ 大学オープンキャンパスへの参加

「百聞は一見にしかず」と申します。大学の情報を得るには、実際に行ってみるのが一番です。春・夏・秋に行われるオープンキャンパスに参加し、大学の講義を受けてみましょう。

コロナウィルスの影響で、学校休業の影響が出ておりますが、一人一人の自覚と取り組みで、難局を乗り切って欲しいと思います。

進路に関する不安や心配事がございましたら、ご遠慮なさらず、進路指導部までご連絡下さい。生徒達の活躍と成功を、心より応援いたしております。

進路指導部